

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	尿路上皮癌 Enfortumab Vedotin+Pembrolizumab療法		臨床区分	抗癌剤適応分類	登録日	2024年10月2日		
疾患名	尿路上皮癌		☒ 日常診療 ☐ 単施設自主研究 ☐ 他施設自主研究 ☐ 市販後臨床研究 ☐ 治験	☒ 進行・再発化学療法 ☐ 術後化学療法 ☐ 術前化学療法 ☐ 局所療法 ☐ その他	1クール期間		21日	
診療科名	泌尿器科				実施回数		/回	
登録医師名	長谷川 泰久							
適用	未治療の局所進行性または転移性尿路上皮癌							

Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日										注意コメント
							day1	—	—	—	day8	—	—	—	—	day21	
1	生理食塩液	100	mL	点滴静注	メイン		●	—	—	—	●	—	—	—	—	—	血管確保用 ※開始から終了までECGモニターを装着すること
2	生理食塩液	50	mL	点滴静注	側管	30min	●	—	—	—	●	—	—	—	—	—	1)パドセプ1Vあたり3.3m lの注射用水で溶解する。注射用水の量は医師、薬剤師で適量に修正すること。 2)希釈後の濃度は0.3～4.0mg/mLになることを確認すること。 3)1回量として125mgを超えないこと。
	パドセプ点滴静注用	1.25	mg/kg														
	注射用水	9.9	mL														
3	生理食塩液	50	mL	点滴静注	側管		●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	パドセプ投与後ルートフラッシュ用
4	生理食塩液	100	mL	点滴静注	側管	30min	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	最終濃度：1～10mg/mL以上 インラインフィルターを使用すること。
	キイトルーダ点滴静注	200	mg														
5																	
6																	

備考欄

減量・中止基準

添付文書参照

文献

Enfortumab Vedotin and Pembrolizumab in Untreated Advanced Urothelial Cancer